

科目名	救急救護政策・行政演習			分野・必選別・ 単位数	専門科目	選択	4単位
担当教員	◎教授 國府田洋明 教授 大滝恭弘 講師 高山祐輔					科目ナンバー	T5C106
課程	修士	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	関係機関による社会動向調査、病院前救急救護活動データ、医療政策等を教材にして、病院前救急救護体制の政策・行政に提言できる要因を討論・分析し、地域事情に応じた実践的な病院前救急救護体制作りができる政策・行政能力を涵養する。また、病院前救急救護現場で発生した医療・救護事故、訴訟事案、感染症を含む二次災害事案、広聴、情報管理の事案など過去の事案を教材として、事故発生 の背景を討議分析して、高い危機管理能力と業務指導能力及び科学的根拠に基づいたMC協議会への提言、実務者を教育指導する業務 管理能力を実践的に行使する能力を涵養する。						
授業の 到達目標	①既存の病院前救急救護活動事例を基に、現場での課題要因を分析し、適正な救護体制を確保する政策・行政対応策を説明できる。 ②過去の病院前救急救護活動における医療・救護事故、訴訟事例等の背景を分析し、事故要因に関する教育・指導要領を説明できる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【第1週～第8週】 病院前救急救護体制の実態分析 救急統計データ及び関係機関の意識調査データを基に、各人がフィールド調査・分析を行い、グループディスカッション方式により検討、その結果を更に各人が裏付けできるデータ調査をし、討論による検討から救急需要や病院前救急救護体制の動向などの課題、問題点を解析し発表する。</p> <p>【第9週～第16週】 病院前救急救護体制のあり方の検討 前週に行った分析結果を基に、将来あるべき病院前救急救護体制について、組織の中の予算担当、企画担当、企画立案担当などの立場からディベート方式で検討を行い、対応策をとりまとめ発表する。</p> <p>【第17週～第24週】 医療・救護事故及び訴訟事例から危機・業務管理運営の検討 過去の医療・救護事故及び訴訟事例等を基に、訴訟となる要因は何かをワーキングにより検討し、対応策を策定、具体的な教育指導要領を発表する。</p> <p>【第25週～第30週】 自己の課題の明確化と研究方法の検討 第1～24週の経験から、自己の課題を明確化し、その対応方法を検討する。</p>						
事前事後学修 の内容および それに必要な 時間	【事前学修】	フィールド調査は、調査先へのアポイントを要請しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。					
教科書	「救急救助の現況 令和元年版」、「消防白書 令和2年版」（総務省消防庁） 講義の中で適宜紹介する。						
参考書	適宜 指示する。						
成績評価の方法および基準	レポート30%、プレゼンテーション30%、口頭発表40%						
その他履修上の 注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						